


中央大学国際センター主催 2026年度 夏期集中 TOEIC 講座 オンライン **【500点コース 入門】** シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

<p>コース概要</p>	<p>TOEIC を受験したことがないか、受験経験が浅く、受験の心構えや段取り、解答のテクニックを系統立てて学んだことがない方向けの基礎講座です。多くの受験者にとって最初の関門である 500 点を超えることを目標とし、公式問題集（過去問のようなものだとお考えください）を解きやすい問題（Part 1-3, Part 5, 6, 7 の前半）を中心に、問題形式、試験範囲、スコアアップのコツ（test-taking strategies）を意識しながら学習します。</p>
<p>使用テキスト</p> 	<p>IIBC & Educational Testing Service、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 7』 ←問題集の番号をお間違えないようお願いいたします https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_ud_07.html ※ 上記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも每期講座のテキストとして取り扱いをいただいています。 ※ 当講座では、指定テキストに電子版のテキストがある場合でも、紙のテキストをお薦めしております。</p>
<p>コースの目標 500 点獲得を目指して…</p>	<p>① TOEIC テストの問題形式や解法を知り、その知識を受験に活かすことができるようになる ② 質・量ともに本番と同レベルの問題を丁寧に解くことで経験を積み、2 時間のテストに耐える英語の体力をつける ③ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する</p>
<p>指導方法</p>	<p>会議ツール Zoom または Microsoft Teams、そして manaba を使用した遠隔授業となります。授業は単語テスト・講師による test-taking strategies の講義・問題演習と振り返りを交えて進めます。開講後、講師の判断でスケジュールや取り扱う問題量を調整する場合があります。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>◇ 予習…不要。原則として、開講後に講師の指示があった場合を除き、公式問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…授業後に、あるいはまた少し時間をおいて（記憶がやや薄れた頃）、学習事項の理解度・定着度をチェックするために、問題集の問題を解き直してみましょう。また、復習として、授業で取り扱うことが出来なかった問題に是非取り組んでください。</p>
<p>受講生のみなさんへの お願い</p>	<p>① 会議ツール Zoom Workplace または Microsoft Teams を使用した同時双方向型授業（オンライン授業）となります。大変申し訳ありませんが、見逃し配信・教室での対面式開講の予定はありません。初日の授業の集合方法等に関しては、遅くとも 8/23（日）正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師からご案内しますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 500 点を意識して授業を進めますが、目標スコアはあくまで目安です。大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

◆ 注意事項・講座スケジュール

（予習不要・公式問題集について）

・テキストの**公式問題集**には**模試 2 回分（Test 1 と 2）**が収録されていますが、今回の講座では、**まず 1 模試（Test 1 の 1-175 番）** 終えることを目指します。特に丁寧に取り組むのは、大問（Part）1, 2, 3, 5, 6, 7 の前半（シングル・パッセージ、147 番-175 番）です。開講後、状況を見ながら、可能であれば最終日は Test 2 の通し練習を行います。状況によっては最終日は遅れている問題演習・質疑応答・受講生からのリクエストに応じる時間に充てる場合があります。

・下表「② 講座スケジュール」→「**公式問題集のスケジュール**」には、**時限・扱うテスト番号とパート**を、さらに「**各回の講義のポイント**」で公式問題集に伴う講義のポイントが

記してあります。また、下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ (Single Passage)」を意味します。このコースでは 176 番から 200 番のマルチプル・パッセージは扱いません (TOEIC は 200 問のテストです)。問題集は授業中に計時して解き、講師が解説を行いますので、事前に解いておく必要はありません。

・クラスの状況に応じて、担当講師の判断で 1) 一部の問題を宿題にする・解説を省く、2) 1 限の授業に 2 限の内容を前倒しにする、2 限の授業の内容の一部を翌日の 1 限に行う 3) Test 2 の問題も取り扱うなどの調整を加えることがあります。ご了承ください。

(時間割)について・通常的时间割と異なります)

時間割は 1 限 10:00~11:40、2 限 12:30~14:10、3 限 14:20~16:00 です。1 日目と 4 日目は 2 コマ、中日の 2 日目と 3 日目は 3 コマです。

★ 公式問題集のスケジュール

授業日			時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート
第 1 日	8/24	月	1 限 (1)	Test 1	Part 1	2 限 (2)	Test 1	Part 2	-	-	-
第 2 日	8/25	火	1 限 (3)	Test 1	Part 3	2 限 (4)	Test 1	Part 3 の続きと 4	3 限 (5)	Test 1	Part 5
第 3 日	8/26	水	1 限 (6)	Test 1	Part 6	2 限 (7)	Test 1	Part 7 (SP) 147-157	3 限 (8)	Test 1	Part 7 (SP) 158-175
第 4 日	8/27	木	1 限 (9)	Test 2	Part 1-4 (通し練習)	2 限 (10)	Test 2	Part 5-7 (SP) (通し練習)	-	-	-

★ 各回の講義のポイント

授業日			時限・回	ポイント	時限・回	ポイント	時限・回	
第 1 日	8/24	月	1 限 (1)	・オリエンテーション ・Part 1 の Strategy	2 限 (2)	Part 2 の Strategy	-	-
第 2 日	8/25	火	1 限 (3)	Part 3 と 4 の Strategy	2 限 (4)	Part 3 と 4 の Strategy	3 限 (5)	Part 5 の Strategy
第 3 日	8/26	水	1 限 (6)	Part 6 の Strategy	2 限 (7)	Part 7 の Strategy	3 限 (8)	全パートの振り返りとまとめ
第 4 日	8/27	木	1 限 (9)	受験準備、心構え等	2 限 (10)	リーディング問題の時間配分等	-	-


● (参考) 講座後に…模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい (「3 回法」などと呼ばれています) と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します (講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします) :

- 1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
- 2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く (復習効果を狙う)
- 3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く (英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識)

以上です。

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

<p>コースの概要</p>	<p>文法と読解を中心に、600 点以上の取得を目指し、TOEIC テストを概観するコースです。次の 1)~4)のポイントが気になる方向に向くコースです：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文法学習に興味がある 2) TOEIC テストの問題形式を網羅的に学習したい 3) 何度か受験しているが、スコアが停滞している 4) リスニングに比べてリーディングのスコアが目立って低い <p>具体的には、Part 5 (空所補充問題) の問題形式で TOEIC の出題範囲の文法を網羅する『金の文法』、そして実際の問題の解き方のコツが詳しくわかる模試問題集『奪取の模試』の 2 冊を使用し、リーディングセクションに重点を置いた学習を行います。</p>
<p>使用テキスト</p> 	<p>① (文法問題集) TEX 加藤『TOEIC L&R TEST 出る問特急 金の文法』(朝日新聞出版、979 円) ※ 同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の熟語』等と間違えないようにお買い求めください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=23405</p> <p>② (模試問題集) 濱崎潤之輔『TOEIC L&R テスト 目標スコア奪取の模試』(旺文社、1,210 円) https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094919</p>
<p>目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① スコア停滞の原因、またはリスニング・リーディングの伸び悩みの大きな原因である文法知識の不足を補う ② TOEIC テストの形式を知り、スコアアップのコツ (ストラテジー) を知る ③ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する
<p>指導方法</p>	<p>会議ツール Zoom または Microsoft Teams、そして manaba を使用したリアルタイムのオンライン授業となります。文法問題集と模試問題集を次頁に記載したスケジュールで学習します。原則として問題集は授業中に演習と振り返りを行うため予習不要です。授業の状況により、授業中に扱いきれなかった問題は翌日に回したり、宿題となる場合があります。この講座は学習内容が多岐にわたるため、開講後の学習プランの多少の変動に関してご理解頂けましたら幸いです。また、リーディングセクションに重点を置いたコースのため、リスニング問題は解くだけ・簡単な解説に留める・割愛などする場合があります。どうかご容赦ください。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>◇ 予習…原則として不要です。 ◆ 復習…その日の授業後、あるいは講座後に文法問題集と模試問題集の問題を是非解き直しましょう。少し記憶が薄れたころ、このシラバスと同じペースで解きなおしたり、あるいは講座後に模試のように一気に解くのもお勧めです。時間がない時は、間違えた問題の英文を意味を考えながらゆっくり丁寧に音読するのもお勧めです。</p>
<p>受講生のみなさんへのお願い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom または Microsoft Teams、manaba 等を活用したオンライン開催となります (欠席された場合の録画対応はありません)。申し訳ありませんがご了承ください。学生のみなさんのカメラやマイクの on/off の決定は、授業の性質や学習効果を検討した上で担当講師が判断し、開講直前にアナウンスしますが、ずっとカメラ/マイクオン、頻りに指名されるなどということはありません。皆でオンラインで集まって問題を解く講師のいる勉強会のような感じをイメージしていただくと良いかと思います。無理なく受講生のみなさんが学習できるように、開講後、講師が機器の使用方法や授業の進度に調整を加える場合があります。ご協力いただけましたら幸いです。 ・ オンライン会議ツールは、音質面で十分でないことがあります。必須ではありませんが、事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール/ダウンロードしておくと、問題が発生した際に便利です。 ・ manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 講座スケジュール…文法書『金の文法』と『奪取の模試』に分けて一覧にしてあります

時限	日時	金の文法			奪取の模試			
1	8/24 (月) 1 限	第1章	品詞問題① Q1-30	30 問	Listening	Part 1	写真問題	
2	8/24 (月) 2 限	第1章	品詞問題② Q31-60	30 問	Listening	Part 2	応答問題	
3	8/25 (火) 1 限	第2章	動詞問題① Q61-Q74	14 問	Listening	Part 3	会話問題	※ 簡潔に学習します
4	8/25 (火) 2 限	第2章	動詞問題② Q75-Q88	14 問	Listening	Part 4	トーク問題	※ 簡潔に学習します
5	8/25 (火) 3 限	第3章	前置詞 or 接続詞問題① Q89-96	8 問	Reading	Part 5	一文の空所補充問題	
6	8/26 (水) 1 限	第3章	前置詞 or 接続詞問題② Q97-112	16 問	Reading	Part 6	長文の空所補充問題	
7	8/26 (水) 2 限	第4章	代名詞問題 Q113-119	7 問	Reading	Part 7	長文読解問題	Single Passage 前半
8	8/26 (水) 3 限	第5章	前置詞問題 Q120-127	8 問	Reading	Part 7	長文読解問題	Single Passage 後半
9	8/27 (木) 1 限	第6章	関係詞問題 Q128-145	18 問	Reading	Part 7	長文読解問題	Double Passage
10	8/27 (木) 2 限	第7章	その他の問題 Q146-160	15 問	Reading	Part 7	長文読解問題	Triple Passage

★ 授業のオンラインでの集合方法等に関しては、8/23 (日) 正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師からご案内いたしますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。時間割は通常の授業時間割と異なり、1 限 10:00~11:40、2 限 12:30~14:10、3 限 14:20~16:00 です。

● (参考) 講座後に…模試本の活用法


授業では問題集を1回しか解くことができませんが、良質の模試は3回繰り返して解くとよい(「3回法」などと呼ばれています)と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します(講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします)：

- 1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが1つもないようにする
- 2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く(復習効果を狙う)
- 3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く(英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識)

以上です。

中央大学国際センター主催 2026 年度 夏期集中 TOEIC 講座 オンライン **【800 点コース 模試演習】** シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

<p>コース概要</p>	<p>2-3 回程度の受験経験があるか、あるいは現在 500 点～600 点前後のスコアを持っている方で、実践形式の学習でスコアを上げたいをしたいとお考えの方に向くコースです。現行の TOEIC テストと出題傾向が最も近いと思われる最新の (2026 年 6 月末日現在) 公式問題集 12 をメインのテキストとして使用し、TOEIC テスト全範囲を本番と同じレベルの問題で学習する中級～上級レベルのコースです。2 模試の演習を通して、TOEIC のスコアアップのコツや出題パターン、自習法などを幅広く学習します。短期間に、問題形式やテスト範囲、解法などのスコアアップのコツと本番レベルの模試演習 をカバーすることで、多くの大学生が研究室の選考や就職活動が視野に入った時に目標とする 730 点から 800 点台へのステップアップを目指します。</p>
<p>使用テキスト</p> 	<p>IIBC & Educational Testing Service、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 12』 ← 問題集の番号を間違えないようご注意ください。 https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_ud_12/pr.html</p> <p>※ 上記テキストは一般の書店でも購入可能ですが、中大生協でも毎期講座のテキストとして取り扱いをいただいています。 ※ 当講座では、指定テキストに電子版のテキストがある場合でも、紙のテキストをお薦めしております。</p>
<p>コースの目標 800 点獲得を目指して…</p>	<p>① TOEIC テストの問題形式や解法を高いレベルで学習し、受験に活かすことができるようになる ② 質・量ともに本番と同レベルの問題を丁寧に解くことで経験を積み、2 時間のテストに耐える英語の体力をつける ③ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する</p>
<p>指導方法</p>	<p>会議ツール Zoom と manaba を使用した遠隔授業となります。授業は単語テスト・講師による test-taking strategies の講義・問題演習と振り返りを交えて進めます。開講後、講師の判断でスケジュールや取り扱う問題量を調整する場合があります。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>◇ 予習…不要。原則として、開講後に講師の指示があった場合を除き、公式問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…授業後に、あるいはまた少し時間をおいて (記憶がやや薄れた頃)、学習事項の理解度・定着度をチェックするために、問題集の問題を解き直してみましょう。また、復習として、授業で取り扱うことが出来なかった問題に是非取り組んでください。</p>
<p>受講生のみなさんへの お願い</p>	<p>① 会議ツール Zoom Workplace を使用したリアルタイムのオンライン授業 (同時双方向型授業)となります。大変申し訳ありませんが、見逃し配信・教室での対面式開講の予定はありません。初日の授業の集合方法等に関しては、遅くとも 8/23 (日) 正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師からご案内しますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。 また、以下 2 点は、担当講師よりお願いです。 お願い 1) オンラインで集合する際、本名を日本語で表示するようにして下さい。講座に登録していない人物の不正入室を防止するためです。ご協力をお願いいたします。 お願い 2) カメラやマイクの on/off については、基本的にはカメラ off で受講していただきます。ただし、ブレイクアウトルームでペアワークを行う場合など (初回に 5 分程度、顔合わせのペアワークを行います) は、カメラを on にするようお願いいたします。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 800 点を意識して授業を進めますが、目標スコアはあくまで目安です。大切なのは参加者のみなさんの意欲です。</p>

◆ 注意事項・講座スケジュール

● 予習不要・公式問題集について

テキストの公式問題集には模試2回分 (Test 1 と 2) が収録されていますが、今回の講座では、2 模試解き終えることを目指します。下表「公式問題集のスケジュール」には、時限・扱うテスト番号とパートを、さらに「各日の講義のポイント」で公式問題集に伴う講義のポイントが記してあります。また、扱うパートの表記に関して補足します。下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ (Single Passage)」を、「Part 7 (MP)」とは、176 番-200 番のダブル・パッセージとトリプル・パッセージを合わせた「マルチプル・パッセージ (Multiple Passage)」を意味します。問題集は授業中に計時して解き、講師が解説を行いますので、事前に解いておく必要はありません。なお、クラスの状況に応じて、担当講師の判断で 1) 一部の問題を宿題にする・解説を省く、2) 1 限の授業に 2 限の内容を前倒しにする、2 限の授業の内容の一部を翌日の 1 限に行く などの調整を加えることがあります。ご了承ください。

● 時間割について・通常的时间割と異なります

時間割は 1 限 10:00~11:40、2 限 12:30~14:10、3 限 14:20~16:00 です。1 日目と 4 日目は 2 コマ、中日の 2 日目と 3 日目は 3 コマです。

★ 公式問題集のスケジュール

授業日			時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート	時限・回	テスト番号	扱うパート
第 1 日	8/24	月	1 限 (1)	Test 1	Part 1 と 2	2 限 (2)	Test 1	Part 2 の続きと 3	-	-	-
第 2 日	8/25	火	1 限 (3)	Test 1	Part 3 の続きと 4	2 限 (4)	Test 1	Part 4 の続きと 5	3 限 (5)	Test 1	Part 5 の続きと Part 6
第 3 日	8/26	水	1 限 (6)	Test 1	Part 7 (SP)	2 限 (7)	Test 1	Part 7 (SP) と (MP)	3 限 (8)	Test 1 と 2	Part 7 (MP)
第 4 日	8/27	木	1 限 (9)	Test 2	Part 1-5 (通し練習)	2 限 (10)	Test 2	Part 6-7 (通し練習)	-	-	-

★ 各回の講義のポイント

授業日			時限・回	ポイント	時限・回	ポイント	時限・回	
第 1 日	8/24	月	1 限 (1)	・オリエンテーション ・Part 1 と 2 の Strategy	2 限 (2)	Part 3 の Strategy	-	-
第 2 日	8/25	火	1 限 (3)	Part 3 と 4 の Strategy	2 限 (4)	Part 5 の Strategy	3 限 (5)	Part 6 の Strategy
第 3 日	8/26	水	1 限 (6)	Part 6 の Strategy	2 限 (7)	Part 7 の Strategy	3 限 (8)	全パートの振り返りとまとめ
第 4 日	8/27	木	1 限 (9)	受験準備、心構え等	2 限 (10)	リーディング問題の時間配分等	-	-

● (参考) 講座後に・・・模試問題集の活用法

授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返して解くとよい (「3 回法」などと呼ばれています) と言われています。「模試本は採点してから勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します (講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします) :

- 1 回目・・・講座で講師と一緒に解き、わからないところが 1 つもないようにする
- 2 回目・・・少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く (復習効果を狙う)
- 3 回目・・・さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く (英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識)

以上